



調査地の位置と周辺の地形 (S = 1/2500)



7A1 トレンチ北区全景(北から)



7A1 トレンチ南区全景(南から)



2面 柱列24・溝1873(東から)



2面 石列37(西から)



2面 礎石建物19(北東から)



2面 石列 35(東から)



2"面 土坑 1894(東から)



北区東部北壁断面(南から・下方に2"面石列 39が見える)



北区東部東壁断面(西から)



北区中央ベルト断面(西から)



北区西壁断面(東から)



南区東壁土壘断面(西から)



下駄出土状況



3・4面 石積1 (北東から)



(南から)



北区拡張区①完掘・石積1隅部の状況 (北から)



3・4面 石列41(北から)



北区西部北壁断面 (南から)



7E1 調査地点 (長安寺本堂跡地・西から)



7E1 調査地点 (長安寺本堂跡地・東から)



調査地点から参道を見下ろす (北から)



長安寺参道 (南から)



7E1 トレンチ全景 (西から)



7E1 トレンチ全景 (東から)



7E1 トレンチ中央部 (南から)



炉 1801(南西から)



石敷 1859(南から)



南区西壁断面(東から)



天目茶碗出土状況



北区東壁断面(西から)



青磁盤出土状況



溝 1828 断面(南東から)



茶入れ出土状況





P1808 断面 (東から)



P1848 断面 (南から)



池 1827 完掘 (西から)



池 1827 北東部の護岸石積 H



池 1827 北西部護岸 (新段階底面の玉石敷の状況・西から)



池 1827 南部南北ベルト断面 (東から)



池 1827 南東部の護岸 (北西から)



鏡出土状況 (北から)



鏡背面



鏡面

木の葉などの有機物が付着している



焼物 (S=1/2、6・16・17 : S=1/3、Noは実測図中の番号に同じ)



焼物 (S=1/2、24のみ S=1/3、Noは実測図中の番号に同じ)



焼物 (S=1/2、51 のみ S=1/3、Noは実測図中の番号に同じ)



木製品 (1～2) : S=1/3、土製品 (3～4) : S=1/3、鉄釘 (5～6) : S=1/2、銭 (7～11) : S=2/3、石製品 : S=1/3



現地説明会



殿村遺跡第7次発掘調査団

## 報告書抄録

ふりがな	ながのけんまつもとしとのむらいせきだい7じはくつちょうさほうこくしょ							
書名	長野県松本市殿村遺跡第7次発掘調査報告書							
副書名								
巻次								
シリーズ名	松本市文化財調査報告							
シリーズ番号	№229							
編著者名	伊藤 愛、竹原 学、原田健司、宮島義和							
編集機関	松本市教育委員会							
所在地	〒390-8620 松本市丸の内3番7号 TEL 0263-34-3000 (代)							
	(記録・資料保管：松本市立考古博物館 松本市中山3738番地1 TEL 0263-86-4710)							
発行年月日	2017 (平成29)年3月27日 (平成28年度)							
ふりがな	ふりがな	コード	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村						
とのむらいせき 殿村遺跡	ながのけん 長野県 まつもとし 松本市 あいだ 会田 536外	20202	1023	36度 21分 12秒	137度 59分 34秒	20150518 ～ 20151106	174㎡	範囲・内容 確認調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
殿村遺跡	敷布地 集落跡 社寺跡 城館跡	縄紋	なし	石器・石製品		保存目的のための範囲・内容 確認調査		
		古代	なし	土師器・黒色土器・須恵器・ 灰輪陶器				
	中世	ビット	55基	埴物：土師質土器（皿・内耳罎）				
		土坑	9基	柶器（常滑裏・中津川裏・須 恵貫挿鉢）				
		礎石	2基	瓦質土器（風炉・火鉢）				
		竪穴状遺構	1基	瀬戸産施軸陶器（天目茶碗、 茶入、盤、挿鉢他）。				
		炉址・焼土面	3基	東海系無軸陶器（山茶碗）				
		炭集中	2基	瀬戸産施軸陶器（天目茶碗、 茶入、盤、挿鉢他）。				
		溝状遺構	5基	輸入陶磁器（青磁碗・盤・香炉・ 白磁碗・青花皿・天目茶碗）				
		池	1基	土器：磁石・磁・石臼				
掘立柱建物	2棟	金属製品：釘・銅銭・銅鏡						
礎石建物址	3棟	木製品：番申状木製品・下駄						
柱列	2基							
石列	7基							
石敷	1基							
石積	1基							
土塁	1基							
要約	殿村遺跡調査事業に係る中世を対象とした遺跡の範囲内容確認調査として、7回目の実施となるもの。1次調査で確認された中世の平場遺構南西部（7A1トレンチ）からは、整地遺構面が8面検出され、15世紀に築造された石積・土塁で区画する池状遺構が段階的に埋め立てられ平場が拡張されていく状況が捉えられた。長安寺本堂跡地（7E1トレンチ）では、14～15世紀代の遺構面2面からなる平場跡が検出され、堂的な建物とみられる礎石建物に加え、庭園に伴う池とみられる遺構を検出した。							

## 殿村遺跡発掘調査報告書一覧

『殿村遺跡—第1次発掘調査概報—』	2011年3月発行	『殿村遺跡—第2次発掘調査報告書—』	2012年3月発行
『殿村遺跡—第3次発掘調査報告書—』	2013年3月発行	『殿村遺跡—第4次発掘調査報告書—』	2014年3月発行
『殿村遺跡—第5次発掘調査報告書—』	2015年3月発行	『殿村遺跡—第6次発掘調査報告書—』	2016年3月発行

松本市文化財調査報告№229

長野県松本市

## 殿村遺跡

—第7次発掘調査報告書—

発行日 平成29年3月27日  
 発行者 松本市教育委員会  
 〒390-8620  
 長野県松本市丸の内3番7号  
 印刷 精美堂印刷株式会社